



儀仗隊の栄誉礼後の巡閲

危機管理のできる国に

衆議院議員 日本医科大学特任教授 千葉県医師会顧問

松本ひさし通信

MATSUMOTO Hisashi, MD, PhD, MBA

〈発行〉 自由民主党千葉県第13選挙区支部 〒270-1345 千葉県印西市船尾1380-2 TEL : 0476-29-5099 FAX : 0476-85-4199

討議資料

令和六年 年頭の抱負

令和六年のスタートにあたり、皆さまが今年も恙なくお過ごしになりますことを祈念申し上げますとともに、本年の私の抱負を述べたいと思います。

昨年は9月の内閣改造に伴って、防衛大臣政務官の任を拝命致しました。医療政策のみならず、わが国の安全保障にも強い関心を抱いていた私にとっては、願ってもない機会に恵まれたものと思っています。わが国を取り巻く戦後もとも厳しく複雑な与えられた安全保障環境の中で、自衛隊の様々な力を強化していくことは極めて重要な課題であります。全力で責務を果たして参ります。

岸田政権は昨年、防衛力の抜本的強化、原子力発電所の稼働期間の延長、ALPS処理水の海洋放出、経済においてはデフレからの脱却を目指すという、国の大きな判断を前に進める政策を打ち出しました。この点においてはもっと評価されてもいいと思います。今年もこの流れを断ち切らないようにしなければなりません。

一方で、政治資金パーティーを巡る問題が持ち上がりました。この問題については、日頃からご支援をいただいている皆さんにご心配をおかけしていること、国民の皆さんには政治に対する不信感を増してしまつたことにお詫びを申し上げます。関連する法律の改正や派閥のあり方を政策集団として変容させるなど、抜本的な改革を私が先導するつもりです。

本年は、積極的サイバー防衛、セキュリティ・クリアランス、共同親権、日本版DBS制度などについての重要法案審議が控えています。皆さんにも分かりやすい説明をしつつ、立法府の人間としてしっかりと議論に関わって参ります。

次の総選挙の実施も含めて政局が近づきつつある気の抜けない状況ですが、地元ではこれまでの2年間あまりの活動を粛々と継続してまいりますので、本年も引き続き、衆議院議員松本ひさしへのご支援とご指導を賜りますよう、何卒、よろしくお願ひ申し上げます。



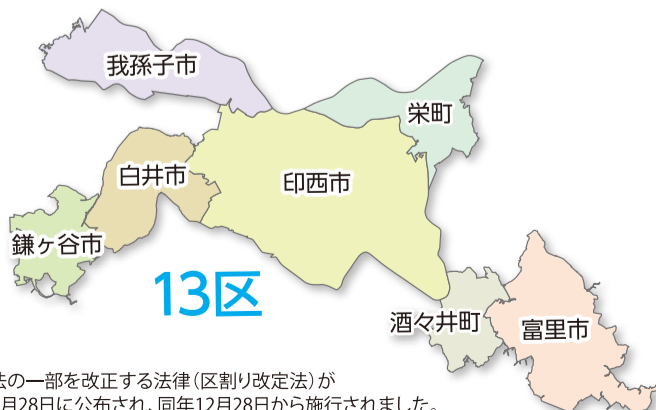
総理官邸での政務官任命後

衆議院議員

松本 南

手賀沼の日の出(我孫子市)

衆議院小選挙区 千葉県第13区



公職選挙法の一部を改正する法律(区割り改定法)が令和4年11月28日に公布され、同年12月28日から施行されました。

自民党 党員募集!

自民党の挑戦に、あなたの力を

誇りと活力のある日本を創り上げ、次の世代へと引き渡していく責任を、自民党は全力で果たしていきます。ぜひ党員になって、私とともに日本の明日を切り拓いていきましょう。

○自民党総裁選の選挙権があります!

総裁選挙の前2年継続して党費を納めた党員の方は、総裁選挙の有権者になります。

○毎年、機関紙「自由民主」党員版をお届けします!

党大会の様や一年間の運動方針などを掲載した、機関紙「自由民主」党員版をお送りします。(家族党員を除く)

※詳しくは、ホームページまたは 松本ひさし事務所までお問い合わせください。

防衛大臣政務官としての仕事

防衛大臣政務官の就任にあたって木原稔防衛大臣からは、人事教育と整備計画に係る業務を担当すること、特に自衛隊衛生の強化を図るよう、この命を受けました。昨年末の国家防衛戦略、防衛力整備計画の改定で、自衛隊における戦傷医療能力を抜本的に強化することが示されました。有事、災害時において国民の生命と財産を守ってくれる自衛隊員自身を守るための、戦傷医療に対する人材の育成、部隊活動の習熟、後方支援などの医療態勢を整備することが私の任務です。この他、陸海空に分かれている衛生部隊の統合運用と訓練の実施、防衛医科大学の経営改革、自衛官の処遇改善、自殺・ハラスメント対策などにも取り組まなければなりません。

このタイミングで医師ととりわけ外傷外科医であった私が防衛大臣政務官に任せられたことは、防衛省・自衛隊にとっても千載一遇の好機です。

令和6年度予算案に思う

来年度予算案は総額で112兆円、前年度よりも2%の減となりました。少子化対策に重点を置いているのが特徴で、児童手当の所得制限撤廃と高校生までの対象拡大、大学授業料・入学金の減免と給付型奨学金の対象拡大、男性の育児休業取得促進に向けた給付拡大などが挙げられます。また、社会保障費についても医療従事者の人件費につながる診療報酬がプラス0.88%とされ、これによって医療従事者の賃金は4%程度の増加になる見込みです。介護報酬は1.59%増となり、特別養護老人ホームや介護老人保健施設の経営や介護職員の賃金にも反映されることと見られます。このように子育て、教育、医療、介護などの領域への直接・間接的な一人への投資に力を入れた予算となりました。

一方で、「国債の発行は歳入の31%を占め、財源への不安は解消されていない」と新聞等のメディアは議論をしています。財務省は今後、少子化対策費や防衛費の確保のために増税を検討していると言われていますが、今、優先すべきなのは税収の自然増を目指した経済政策です。昨年11月に岸田政権は原材料費の高騰に端を発する物価高に対しての総合経済対策をまとめました。この中で低所得者世帯への給付、電



防衛省の政務官室で

あり、私にしかできない仕事であることは衆目の一致するところと見られます。政務官の任期は通常は一年程度です。この間にこれらの課題の道筋をつけるつもりです。また、任期中には可能な限り全国の部隊を視察し自衛官の声を聞くとともに、彼らの士気の向上を目指したいと思っています。

「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努め、もって国民の負託に応える(自衛隊法施行規則第39条)」ために昼夜を問わず奮闘努力している自衛官諸氏に対して、これからは益々、温かいご声援を賜りますよう、お願いをする次第です。

気・ガス・ガソリン代への補助などに加え、「税収増を還元する」ための所得税減税を打ち出したわけですが、しかし、給付や補助金と減税の目的や時期、効果について国民の皆さんへの説明が不十分だったために世論の支持が得られませんでした。それは、政権の経済財政政策における大きな方針、つまり「軸」がはっきりしていないことが原因だと思っています。

そもそも財務省の掲げるプライマリーバランスの黒字化方針——すなわち緊縮財政の下での少子化対策費、防衛費、医療・介護費などを確保しようとする考え方に誤りがあります。少子化対策には社会保障保険料に支援金の上乗せをする、防衛費には法人税等の増税を検討する、医療介護費については診療報酬等を削減するなどの国民負担の増える方策を提案しながら、財政は緊縮のままというのでは筋の通らない話です。国の労働力や成長を左右する少子化問題、現在の厳しく複雑な安全保障環境、国民の生命と健康の保持等の重要性を考えると、これらにかかる費用の負担について国民の皆さんの理解を得るためには、まずは安定的な賃金増を達成する経済状況を作り出すことが前提になります。「コロナ禍では100兆円を超える国債を発行

国政報告会2023を開催しました

去る10月14日に「二回目となる国政報告会を開催しました。当日は選挙区内外から昨年を上回る380名のご参加を賜りました。改めて厚くお礼申し上げます。

ゲストには当選一回の同期であり、思想信条を同じくする鈴木英敬代議士(三重4区、元三重県知事)にお越しいただき、座談会形式で最近の政策や政局についてお互いに思いの丈を語り合いました。

報告会では、国政課題の現状、特にこの一年半にわたり徹底して勉強してきた財政金融政策についての私の考えを皆さまに伝えることができました。「自分の言葉で、分かりやすく、政策を伝える」ことが私の政治活動の目標です。このような場に限りならず、小集会などの機会も設けながら皆さんの国政への理解を深めていきたいと思います。



国政報告会2023で鈴木英敬代議士と固く握手

したことで、わが国は経済活動の致命的な低迷を回避することができ、他国に比べて供給力が維持できたと言われています。また、供給を大きく下回っていた需要はほぼ均衡するまで回復しました。この好機を逃さず景気の好循環を得るには、500兆円超の企業の内部留保や1000兆円に及ぶ家計の預貯金が活発な投資や消費に回るような政策を打ち出さなければなりません。プライマリーバランス黒字化の旗を降ろし、需要が供給を上回る高圧経済の下での賃金増を伴うインフレ率2%を持続的に達成することで税収増を得る。そこに至るまでの間は、コスト高のインフレでも消費性向を冷まさせないために給付・補助と時限的な消費税減税を行う。安定した政権運営には、このような論理的で確固たる「政策軸」の説明が欠かせないのです。政権運営にかぎらず、私は国民の皆さんに対してこのような政策の「デザイン」(絵図面)を示すことを心がけるとともに、今、保育園や幼稚園に通う子どもたち、これから生まれてくる子どもたち、将来世代が夢を持てるような政策が目に見える予算案を考えていきたいものです。

能登半島地震について

1月1日に石川県能登半島で発生したM7.6の地震は、奥能登の皆さんに多大な被害をもたらしました。亡くなられた方々と被災された方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

私は石川県出身であり、能登の七尾市で勤務した経験もあることから、被災地はよく知っているところも多く、「能登は優しや土までも」と言われるこの地域の復興が気にかかる毎日です。

発災急性期には防衛大臣政務官として自衛隊の派遣にもかかわらず、今後は医療の提供についても被災者の皆さんへの支援を続けていくつもりです。

役職・所属

- 内閣 ●防衛大臣政務官
- 衆議院 ●安全保障委員会
- 自民党 ●日本の名誉と信頼を確立するための特命委員会 事務局長
- 自民党 政務調査会 ●新型コロナウイルス等感染症対策本部 本部長補佐 ●新型コロナウイルスに関するワクチン対策プロジェクトチーム 幹事 ●国際協力調査会 事務局長
- 文部科学部 ●学校現場のいじめ撲滅プロジェクトチーム 幹事 ●科学技術・イノベーション戦略調査会 医療分野の研究に関する小委員会 事務局長
- 自民党 憲法改正実現本部 ●「タスクフォース」委員 兼 講師陣メンバー

プロフィール

松本 尚 1962年6月3日生まれ (まつもと ひさし)

医学博士(金沢大学)
経営管理学修士 (MBA, 英国Anglia Ruskin大学)

日本医科大学特任教授
千葉県医師会顧問

日本有数の救急・外傷外科医。ドクターヘリの普及に努めるこの分野の第一人者となる。ドラマ「コード・ブルー」など多数の医療ドラマを監修。産経新聞「正論」執筆メンバー。日本国を愛する真正の保守政治家。

松本ひさしの活動は、ホームページやSNSで発信中!

印西事務所 自由民主党 千葉県第十三選挙区支部

〒270-1345
千葉県印西市船尾1380-2
TEL.0476-29-5099
FAX.0476-85-4199

国会事務所

〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1009号室
TEL.03-3508-7295
FAX.03-3508-3505

